

登録コード	E7150900	開講年度	2026				
授業科目	心理学統計法					担当教員	三和 秀平
英文授業名						副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・5時限		対象学生
講義室	教育N104講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	心理統計の基礎や分析のためのソフトウェアの扱い方について解説を行い、実際に分析を行う。						
(5)授業計画	第1回：心理統計の基礎：ガイダンスとソフトウェアの説明 第2回：測定と尺度：尺度水準 第3回：変数の要約：代表値や散らばりによる指標 第4回：変数間の関連：相関係数 第5回：母集団と標本 第6回：統計的仮説検定の考え方 第7回：度数分布の検定：カイ二乗検定 第8回：平均値の差の検定：t検定 第9回：1要因の分散分析 第10回：2要因の分散分析 第11回：分散分析のまとめと復習 第12回：回帰分析 第13回：因子分析 第14回：その他の多変量解析とまとめ 定期試験 学期最終回の授業で「授業アンケート」を実施する 受講者の関心などにより内容を変更することがある 教育実習等で欠席をした場合は別途課題を出す						
(6)成績評価の方法	最終課題（40%）、授業内で行う課題（40%）および授業内での取り組み（20%）により評価を行う。 最終課題では心理統計にかかわる基礎的な知識を評価する。 授業内課題では授業の最後にその日に学んだ分析を実際に行い、適切に情報を処理する力、論理的に思考する力や数量的に思考する力、自律的に考える力の評価を行う。 授業内の取り組みでは、自律的に考える力を評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	【卓越している】心理統計の基礎的な知識を得て、各分析の特徴を理解した上で、難しい応用問題が解ける。 【かなり上にある】心理統計の基礎的な知識を得て、各分析の特徴を理解した上で、応用問題が解ける。 【やや上にある】心理統計の基礎的な知識を得て、各分析の特徴を理解した上で、授業の例題と同レベルの問題が解ける。 【その水準にある】心理統計の基礎的な知識を得て、授業の例題と同レベルの問題が解ける。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習として、前の授業内容をどの程度理解しているのかを確認し、復習しておく。 加えて、授業前に指定した教科書の範囲に目を通しておく。 事後学習としては、授業で行った分析をもう一度やりなおしておく。 60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	パソコンを使用する。授業の際には持参すること。 事前に統計ソフトの“HAD”をダウンロードしておくことが望ましい。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問や相談はメールなどで随時受け付ける。						
【教科書】	小宮 あすか ・ 布井 雅人（2024）Excelで今すぐはじめる心理統計 第2版 簡単ツールHADで基本を身につける（KS心理学専門書）、講談社 https://bookclub.kodansha.co.jp/product?item=0000398888						
【参考文献】	村井潤一郎（2013）はじめてのR—ごく初歩の操作から統計解析の導入まで— 北大路書房 小杉考司（2019）Rでらくらく心理統計—RStudio徹底活用— 講談社 高橋信・トレンドプロ（2004）マンガでわかる統計学 オーム社 田中敏・中野博幸（2013）R&STARデータ分析入門 新曜社 吉田寿夫（1998）本当にわかりやすいすぐく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本 北大路書房						

【参考文献】	川端一光・岩間徳兼・鈴木雅之（2018）Rによる多変量解析入門—データ分析の実践と理論— オーム社 緒賀郷志（2019）Rによる心理・調査データ解析 第2版 東京図書 その他，授業内で適宜紹介をする。
--------	--